

第76回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
第70回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

ミキプルーンスーパーカレッジバレー2023

東京大会開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
朝 日 新 聞 社
日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社
株式会社ジェイ・スポーツ
共 催 一般社団法人大学スポーツ協会
特別協賛 三基商事株式会社
後 援 ス ポ ー ツ 庁 (予定)
公益財団法人東京都体育協会 (予定)
公益財団法人東京都バレーボール協会 (予定)
主 管 大会実行委員会

I、大会日程

1、大会期間 2023年11月27日(月)～12月3日(日)

2、開会・閉会式 11月27日(月) 大田区総合体育館(開会式予定)
12月3日(日) 大田区総合体育館(閉会式予定)

3、レフリースタッフ

代表者会議

① 代表者会議 11月27日(月) 16:00～

② 緊急時対応マニュアルについて 11月27日(月) 代表者会議終了後

※①②に開催方法は未定。

前売りパンフレットは各チーム初戦の日に各会場受付にて受け取ること。

5、大会会場

11月28日(火) 29日(水)

大田区総合体育館(男女会場)

駒沢室内競技場(男子会場)

立川市泉市民体育館(女子会場)

町田市立総合体育館(女子会場)

エスフォルタ八王子(男子会場)

11月30日(木)

大田区総合体育館(男女会場)

立川市泉市民体育館(女子会場)

エスフォルタ八王子(男子会場)

12月1日(金)

大田区総合体育館(男女会場)
立川市泉市民体育館(男女会場)

12月2日(土)、3日(日)

大田区総合体育館(男女会場)

- 6、表彰
- 優勝・準優勝・3位表彰は決勝戦終了後おこなう。
- 優勝チーム 男子・秩父宮賜杯、女子・秩父宮妃賜杯、
ミキプルーンスーパーカレッジカップ、賞状、ミキプルーン、
ミズノ記念Tシャツ
(公財)日本バレーボール協会杯
(一財)全日本大学バレーボール連盟杯、芳名録、ウイニングボール、
(公財)日本バレーボール協会杯個人盾
(一財)全日本大学バレーボール連盟メダル
- 準優勝チーム (一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、準優勝盾、記念ボール、
個人メダル、ミキプルーン
- 第3位チーム (一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、記念ボール、個人メダル、
ミキプルーン
- 個人賞 (公財)日本バレーボール協会 優勝監督賞、
朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社 最優秀選手賞、敢闘選手賞、
ベストスコアラー賞、スパイク賞、ブロック賞、サーブ賞、セッター賞、
レシーブ賞、リベロ賞、
ジェイ・スポーツ MIP賞

7、コロナウイルス感染症への対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
全日本大学バレーボール連盟「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2023
大会運営ガイドライン」及び「体調不良者への対応指針」を遵守すること
- (2) 大会期間中、新型コロナウイルス感染者や体調不良者が確認された場合、
「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2023大会運営ガイドライン」及び
「体調不良者への対応指針」に則って対応すること。
- (3) 大会期間中に流行性疾患への感染者または体調不良者がチーム内に2名以上で
た場合は学連に速やかに報告すること。
 - 感染症対策窓口電話：080-4670-8995
 - 感染症対策窓口報告メール：health@juvf.jp

II、大会参加資格

1、チーム参加資格

ミキプルーンスーパーカレッジバレー2023に参加できるのは、
地区学連の割り当てられた数とする。
なお下記の条件を満たしていること。

- ① 2023年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として
登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- ② 2023年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
- ③ JVA 個人登録(MRS)の登録者であること。

男子（計64チーム）		女子（計64チーム）	
学連割り当て数		学連割り当て数	
北海道学連	4チーム	北海道学連	4チーム
東北学連	4チーム	東北学連	3チーム
北信越学連	3チーム	北信越学連	3チーム
関東学連	20チーム	関東学連	21チーム
東海学連	8チーム	東海学連	6チーム
関西学連	12チーム	関西学連	14チーム
中国学連	5チーム	中国学連	4チーム
四国学連	2チーム	四国学連	2チーム
九州学連	6チーム	九州学連	7チーム

Ⅲ、競技・審判の注意事項

1、競技規則

- (1) 2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
- ② スタッフ、選手が途中参加の場合は事前に、審判・学連委員申し出ること。
- a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
- b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。

2、競技方法

- (1) 全試合5セットマッチとする。

3、試合使用球

- (1) 今大会は、男子がモルテン製カラーボール(V5M5000)、女子がミカサ製カラーボール(V300W)を使用する。
- (2) 全試合原則5ボールシステムで試合を行う。

4、競技日程

第1日	11月28日(火)	トーナメント	1回戦
第2日	11月29日(水)	トーナメント	2回戦
第3日	11月30日(木)	トーナメント	3回戦
第4日	12月1日(金)		準々決勝
第5日	12月2日(土)		準決勝
第6日	12月3日(日)		3位決定戦・決勝

5、コロナウイルス 感染症対策

(一財)全日本大学バレーボール連盟の「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2023大会運営ガイドライン」及び「体調不良者への対応指針」を遵守すること。

6、選手・スタッフ登録

- (1) (公財)日本バレーボール協会、及び(一財)全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
- (2) 選手のエントリーは18名以内とする。
- (3) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名トレーナー1名、マネージャー1名(但し、部長は(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申込受付後は、原則として、エントリーの変更は認めないので注意すること。
- (4) 正規の競技者トリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて13名以上、選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (5) 当日のエントリーは19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)とする。

7、各種資格

- (1) チーム内に指導者有資格者(コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4)がない場合ベンチに入ることは認められない。
- (2) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師、および医療免許資格を有する者とする。但し当分の間、科学研究委員会が定めた、日本赤十字社、各消防署等の講習会に参加し認定書を交付された者とする。
講習会の延期・中止等によりエントリー届締切日に証明書の発行が間に合わない場合は、大会初戦当日、本部席にトレーナー資格証明書(資格証明書のコピーを付けたもの)を提出すること。
- (3) トレーナーとしてベンチに入る者は、(一財)全日本大学バレーボール連盟が発行した資格取得証明書を試合中提示すること。

8、競技者選手・スタッフ メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ①第1試合は、試合開始の30分前までに、大会本部へ提出すること。
 - ②第2試合以降は、会場入場後またはフロア開放後から試合開始30分前までに大会本部へ提出すること。
 - ③コンポジションシートの提出後の変更は認めない。
 - ④部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a. 臨時役員変更届を学連担当者に提出すること。
 - b. スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限り認める。
- (2) 各セット開始前に提出されたラインアップ・シートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認めない。

9、試合開始時刻

- (1) 公式練習時間について全日程、全試合設定時刻の11分前にプロトコールを開始する。但し、前の試合が時間を押した場合は学連より開始時刻を伝達する。
- (2) 大会期間中、フロアでのアップを行うのは試合前のチームのみとする。
- (3) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。
- (4) 11月28日から12月2日までは以下の時間設定で行う
※入場可能時刻は設定しない

縦4

	フロア開放時刻	試合開始時刻
1 試合目	8:45	9:30
2 試合目	11:15	12:00
3 試合目	13:45	14:30
4 試合目	16:15	17:00

立川市泉市民体育館（初日のみ）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
1 試合目	9:45	10:30
2 試合目	12:15	13:00
3 試合目	14:45	15:30
4 試合目	17:15	18:00

縦2

	フロア開放時刻	試合開始時刻
1 試合目	10:15	11:00
2 試合目	13:15	14:00

(5) 12月3日は以下の時間設定で行う

	フロア開放時刻	試合開始時刻
1 試合目	8:45	9:30

※フロアを使用できる時間は前試合終了後30分間とする。

1 試合目→2 試合目、3 試合目→4 試合目はネット張り替えが行われるため、ネット張り替え後、30分間をフロア開放時間とする。

※2 試合目以降は、アップに関しては、サブコートを使用することができる。

10、公式練習及び
試合時のベンチ

- (1) 公式練習の時間は、全日程各試合共に1チーム3分ずつとする。合同6分とする。
- (2) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。モッパー2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(最大3名)を配置すること。
- (4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないように(ボールキーパー・モッパーを含め、最大3名)を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を

- 含め、公式練習に参加することは一切してはならない。
- (5) ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗は床に倒して置くこと。
 - (6) ベンチには飲料水、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。

11、ユニフォーム

- (1) 本大会のユニフォーム等の広告は(一財)全日本大学バレーボール連盟ユニフォーム規程によって規制されると共に、(公財)日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止される。試合中の競技用品は(ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズは公認企業となる。)
- (2) ソックスについては長さとし、刺繍(ロゴマーク等)のワンポイントまで認める。(但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分配慮し、マスキングを施すこと)。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
- (5) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (6) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (7) リベロと他の競技者とユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (8) 本大会の使用企業名は下記の通りです。
どの企業の製品か十分注意すること。公認企業以外のロゴは、安全に十分注意して隠しマスキングして使用することができる。
 - ①ユニフォーム公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アンダーアーマー、ヴィクトリー、ミレグラ、アルスト、アクラム、トレスジャパン、ボルトン、スポルディング、チャンピオン、ヒュンメル)
 - ②サポーター公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、アルペン)シューズは公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、アディダス)

12、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)が、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。(リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (2) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。
- (3) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。
再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (4) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。

- (5) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名することを求めた場合、この要求は認められる。
- (6) 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
 - ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することをセカンドレフェリーに伝える。
 - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

13、ワイピング行為 について

- (1) モッパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。
- (2) モッパーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、モッパーが必ず行うこと。
- (4) モッパーが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) モッパーの手袋の着用は不要とする。

14、競技全般の不法 行為の取扱い

- (1) 2023年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフ・選手が試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。

15、試合前の待機中 のチーム

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、学連員の指示があるまでアリーナ外に待機すること。

16、チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。（但し、マネージャーは当該大学生のみとする。）

- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生で、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装(ジャケット必須)とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。
- (5) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (6) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (7) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
- (8) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為)このような行為は制裁の対象となる。
- (9) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。
- (10) 試合中はトレーナー認定確認書を大会本部で受理して身に付けること。

17、応援について マスクの着用は任意とし、発声を伴う応援を認める。

18、学生補助役員について

- (1) 学生補助役員は14名(スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボールリトリバー6名)で行う。
※会場によって配置人数が異なる場合もある。
- (2) 補助役員は1試合目のみ関東学連に所属しているチームで学連サポーターとして補助役員を派遣する。2試合目以降については前の試合の負けチームが担当する。
- (3) プロトコール開始15分前までに記録席に集合すること。
- (4) 学生補助役員は以下のように行う。
 - ① 補助役員が不足している部分は、リトリバー・点示から同会場で同時刻に試合を行っている他コートチームで役割を分担させる。
 - ② チームで統一された服装(ユニフォーム可)で行い、任務を遂行すること。
 - ③ 補助役員を行う学生は速やかに集合時間に記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボールリトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

19、棄権の取扱いについて

- (1) 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2023年度(公財)全日本バレーボール協会6人制競技規則、2023全日本インカレ開催要項・競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。

- (3) 棄権校が出た場合 11月20日(月)まで各地区学連での補填期間とし、それ以降は不戦敗とする。

IV、会場使用上の注意

各会場マニュアルを熟読しておくこと。

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする
企業席・報道席を設ける為、企業関係者・報道関係者は該当する場所で観覧すること。
- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
チームデータの為のビデオの充電は全会場学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙。喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。
- (5) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。
各チームともに荷物の管理は徹底すること。
※忘れ物・紛失物に関しましては、各会場受付にてお預かりします。(大会開催中のみ) 恐れ入りますが各会場受付までご連絡下さい。
貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (6) 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力し、消毒して帰ること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。
- (7) 会場に出たごみは各自(各チーム)責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。(特に弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。)
また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。
作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

V、その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (3) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。
応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。
以後の責任は負いません。
- (4) 練習会場は用意しません。
- (5) 宿泊・弁当については、各チームで手配してください。
- (6) チームで手配した弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行う事。会場にゴミを放置したまま帰る等の行為は禁止です。

VI、大会申込方法

1、大会エントリー

申込期間

- 1、エントリー届申し込み **10月2日(月)～10月24日(火) 18:00 まで**
出場の可能性のあるチームは全チーム提出すること。

(原則としてどのような理由があっても締切期日までに間に合わない場合は参加を一切認めないので注意すること。)

- 2、大会申し込み振り込み期限は **11月17日(金) 18:00まで** に下記の振り込み先をお願い致します。

2、エントリー

変更申込期間

10月25日(水)～11月19日(日) 18:00まで

(締切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること)

- ① 申込受付後のエントリー選手の変更は原則認めないが、怪我や病気等での変更のみ認められる。その際、医師から診断を受け、怪我や病気等で診断書の提出により、最大2名まで変更できる
- ② 診断書は郵送で11月21日(火)までに全日本学連事務所必着とする。

3、大会申込必要書類

申し込み書類提出にあたり、開催要項・ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

- (1) 今大会は、エントリー、集合写真についてはメールにて提出、その他の書類については郵送で行います。各申請用紙は(一財)全日本大学バレーボール連盟・全日本インカレのページからダウンロードしてください。

※ **10月24日(火) 18:00**まで

- (2) エントリー用紙 Excel 形式について

注意事項に従いデータを入力し、Excel データのまま送付すること。

※ エントリー届と振込用紙の締切り期日が異なる為、注意する事

- (3) 写真について

人数の制限は設けない

- ① 不鮮明、ふざけた写真は撮り直しとする。
- ② 選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影すること。
- ③ 選手はユニフォーム・スタッフは統一された服装で撮影すること。ポーズは禁止とする。
- ④ 写真はスマホで撮らず J P E G (写真の保存形式) で送ること。

- (4) トレーナー資格確認表、指導者資格確認表、ウェア・シューズ・サポーター確認書について必要事項を記載し送付すること。

- (5) 振込について **振込期限は11月17日(金)とする**

- ① 受付申し込み用紙 (参加料 30,000 円の振り込みコピーを添付)
- ② 予約プログラム申し込み用紙 (800 円×予約部数の振り込みコピーを添付)
- ③ 参加料と予約プログラムは別々に振込んでください。振込む際、必ず大学名で振込み、大学名の前は男子ならば“M”、女子なら“F”を入力すること。プログラムは前売価格 800 円
- ④ ①・②は PDF 形式でメールに添付してください。

※受け付け申し込み用紙・予約プログラム申し込み用紙 の 2 点に関しては、出場が決定してから振込を行い、速やかに送付してください。(出場確定前に振り込みをした後、結果的に出場不可となってしまった場合でも、一度振り込まれたお金は返金致しかねます。)

- (6) 提出方法について

申し込み用アドレス：男子 m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp

：女子 f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp

件名は以下の通りに明記してください。

・エントリー提出時 「〇〇大学 男子/女子 エントリー」

- ・申込用紙提出時 「〇〇大学 男子/女子 申し込み」
- ・その他郵送時
〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室
全日本インカレ事務局 申込担当者 宛

- (7) 受付の返信通知は、(一財)全日本学連が受け取ってから確認ができ次第メールにて返信通知を致します。返信通知が遅い場合には、最終ページの連絡先にお問い合わせください。
- (8) 各地区学連のリーグ日程の都合上、申込締切期日10月24日(火)18時までに諸事情により申込ができないチームは、各地区学連を通して全日本インカレ事務局に連絡をください。

4. 参加料

プログラム振込先

三菱UFJ銀行 神田駅前支店 (店番010)
預金種別 普通預金
口座番号 1070339
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟

※一度振り込まれたお金は返金いたしません。

5. 抽 選 会

日 時：11月3日(金) 時間は未定

抽選会は全日本学連委員で行う。
各学連の代表者による抽選を行う。
感染症対策の観点から抽選会は委任状の提出をすること
抽選の様子はYouTubeでライブ配信する
抽選会の結果は速やかに全日本学連のホームページに掲載する。

【本大会に関する問い合わせ先】

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室
T E L : 03-5244-4804 (18:00~21:00)
F A X : 03-5244-4805
E-mail: info@juvf.jp (上記時間外はこちらにメールを下さい。)
感染症対策の為、現在はメールでのご対応をしております。